

グループワーク再編案の整理・分析（更新版）

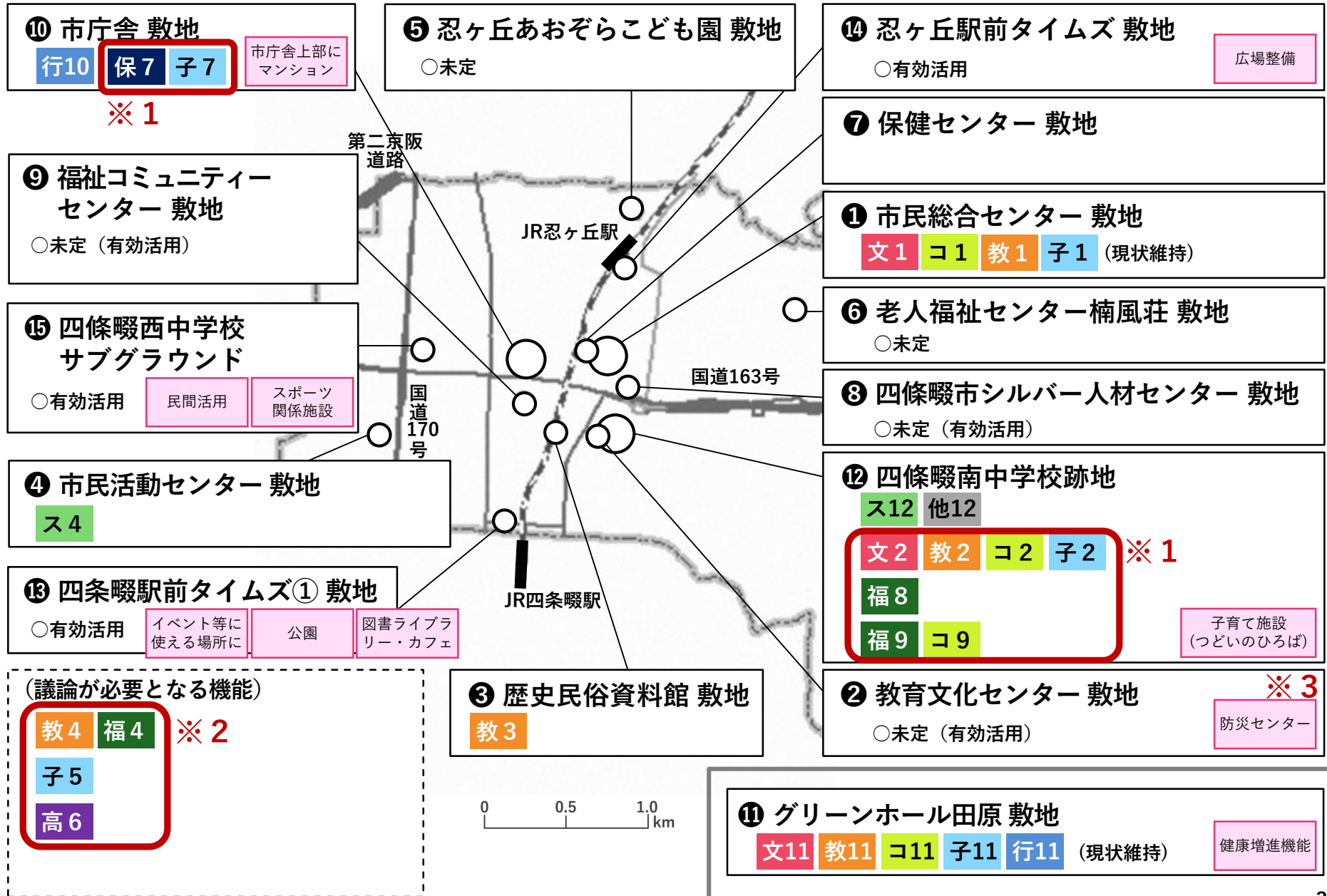
（令和3年度第1回検討会の意見を追記）

（令和3年度第2回検討会の意見を追記）

敷地名	A班	B班	C班
① 市民総合センター 敷地	文1コ1教1子1文2コ2	文1教1コ1子1行政(一部)	文1教1コ1子1
② 教育文化センター 敷地	子2防災センター	未定	有効活用
③ 歴史民俗資料館 敷地	教2教3	教3	教3
④ 市民活動センター 敷地	教4ス4	ス4	教4ス4福4高6(楠風荘)
⑤ 忍ヶ丘あおぞらこども園 敷地	未定	未定	未定
⑥ 老人福祉センター楠風荘 敷地	未定	未定	高6
⑦ 保健センター 敷地	保7子7	子5	有効活用
⑧ 四條畷市シルバー人材センター 敷地	未定	未定	有効活用
⑨ 福祉コミュニティセンター 敷地	福9コ9福4福8	未定	有効活用
⑩ 市庁舎 敷地	行10	行10保7子7	行10保7子7市庁舎上部にマンション
⑪ グリーンホール田原 敷地	文11教11コ11子11行11	文11教11コ11子11行11行政(一部)	文11教11コ11子11行11ジムスタジオ
⑫ 四條畷南中学校跡地	ス12他12	ス12他12文2教2コ2子2 福4教4高6福8福9コ9	ス12他12文2教2コ2子2 子育て施設(つどいのひろば)福8福9コ9
⑬ 四条畷駅前タイムズ① 敷地	他13イベント等に使える場所に	他13公園	他13図書ライブラリー・カフェ
⑭ 忍ヶ丘駅前タイムズ 敷地	他14未定	他14現状維持 or 広場整備	他14民間活用
⑮ 四條畷西中学校サブグラウンド	他15未定	他15民間活用スポーツ関係施設	他15現状維持
その他・整理が難しいもの	子5高6		子5

○ グループワークの整理（機能配置マップ）

複数班で共通する案



○ 対象施設の検討

整理した意見を基に議題を設定し、市の方針と整合を図りながら
対象施設(機能)の方向性を検討・議論する

意見の整理結果・議題

全班で意見が一致するもの

- ①市民総合センター機能の配置先
- ③歴史民俗資料館機能の配置先
- ⑩市庁舎機能の配置先
- ⑪グリーンホール田原機能の配置先
- ⑫四條畷南中学校跡地機能の配置先
- ⑬～⑮敷地の有効活用

※ 1：2班で意見が一致するもの

- ②教育文化センター機能の配置先
- ⑦保健センター機能の配置先
- ⑧四條畷市シルバー人材センター
- ⑨福祉コミュニティーセンター機能の配置先

※ 2：各班で意見が一致しないもの

- ④市民活動センター体育館以外の機能の配置先
- ⑤忍ヶ丘あおぞらこども園機能の配置先
- ⑥老人福祉センター楠風荘機能の配置先

※ 3：追加機能等

- 各敷地における追加機能の提案
- その他提案・意見

市の方針
個別施設計画に掲げる方針

次ページ参照

検討・議論

個別施設計画に掲げる方針

2 取組の視点

今回の再編は、将来における人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、単に施設総量を抑制するだけでなく、施設の集約化や複合化を行うことで、利便性の向上、床面積の削減による維持修繕費等の管理コストの削減、1つの施設を多様な世代の市民が利用することによるにぎわいの創出など、様々な効果が期待できます。

- (1) 施設総量（総延床面積）の最適化
- (2) コンパクトな市域に見合う施設の再配置
- (3) 利用状況やコストを勘案した効率的な施設運営
- (4) 誰もが利用できる魅力ある複合施設
- (5) 学校跡地における安心安全の確保やにぎわい創出

(参考) 四條畷市個別施設計画【公共施設】P.13

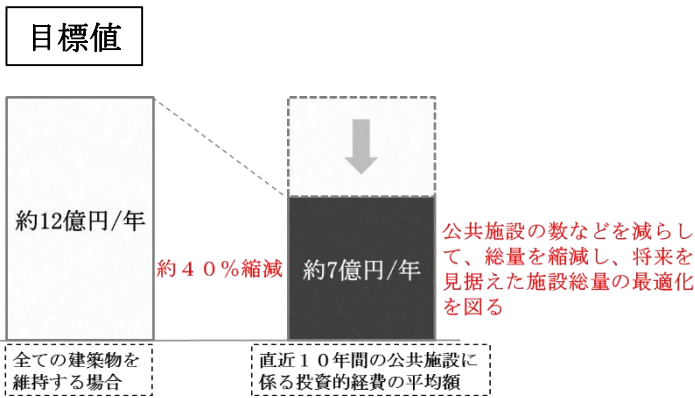


図1-1 投資的経費の費用抑制

(参考) 四條畷市個別施設計画【公共施設】P.14

	短期〔前期〕	短期〔後期〕	中期	長期	計画期間外	合計	目標値
	2019~2024	2025~2029年	2030~2039	2040~2050	2051~2057		
既存施設を今後40年間維持した場合の将来更新費用	104.3	94.0	115.3	52.3	145.4	511.3	目標値
	407.0						
短期〔前期〕による再編事業を実施した場合	30.9	45.1	150.3	68.3	53.9	348.5	273.0
	317.6						

目標値273.0億円=7.0億円(年間平均目標値)×39年間(試算期間:2019~2057)

表1 短期〔後期〕以降の再編に係る将来更新費用の目標額

(参考) 四條畷市個別施設計画【公共施設】P.19

住民(利用者)の満足度を高めていく。

満足度 UP

公共施設の再編に向けて

視点の具体例

費用



- 集約化が可能となる機能の配置（低利用の施設機能の集約）
- 複合化による床面積の縮減（事務室、廊下、トイレなど）
- 低利用な機能の廃止（利用率が低い会議室など）
- 民間活用〔PPP/PFI〕（民間ノウハウの活用、民間主導など） etc.

満足度



- アクセスしやすい配置（駅やバス停から近い、前面道路が広い、高低差が少ない）
- 複合化による窓口手続き等の利便性向上（1つの施設で手続きが完了できる）
- 複合化による多世代間の交流（新たなコミュニティの形成）
- ユニバーサルデザイン（誰でも使える施設）
- にぎわいの創出（持続的に人が滞留する公共空間を創出） etc.



グループワーク再編案を整理・分析

○ 対象施設の検討

整理した意見を基に議題を設定し、市の方針と整合を図りながら
対象施設(機能)の方向性を検討・議論する

議題・検討項目スライドの構成

議題

各班意見

グループワークで
出た意見を記載

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目 (※1：2班で一致する意見)

②教育文化センター機能 文2 教2 コ2 子2 の配置先

■ 2班) 四條畷南中学校跡地に配置

●意見・コメント

※検討会当日に出た意見をここに書き出し、
リアルタイムで共有します

■ 1班) 市民総合センター敷地に 文2 コ2 を配置 教育文化センター敷地に 子2 を機能維持 歴史民俗資料館敷地に 教2 を配置

●意見・コメント

※検討会当日に出た意見をここに書き出し、
リアルタイムで共有します

配置先(敷地)の特徴

四條畷南中学校跡地

- ・土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を利活用する
- ・建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がない

市民総合センター敷地

- ・市民総合センター機能を現状維持するため、現時点で敷地に追加施設整備の余地はなく、将来的に建替え整備を行う場合は、市民総合センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある

教育文化センター敷地

- ・現教育文化センター施設は、耐震性がなく、早急な建替え整備が必要
- ・現時点で敷地に余地がなく(要確認)、整備を行う場合は、教育文化センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある

歴史民俗資料館敷地

- ・国の登録有形文化財の土蔵は現地で適正保存
- ・現時点で敷地に余地がなく、追加施設整備を行う場合、土蔵を避けながらの整備となり、歴史民俗資料館機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある

個別施設計画【公共施設】との整合

配置	機能	総量削減
○ 配置の方針は特にはない	○ 親和性の高い施設との複合化	・複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要
○ 配置の方針は特にはない	△ 教2(資料室)は、指定管理者独自の自主事業のため、他施設での継続が難しい	・市民総合センターへの機能統合による総量削減の余地が一定あり、計画時には継続検討が必要 ・子2(児童室)機能が単体整備となることが考えられるため、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

今回の検討会における意見・コメント

グループワーク結果を踏まえて、検討会当日に出た意見・コメントを簡潔に書き出し、リアルタイムで意見を共有しながら議論を進める

※当日は、3ページに示すマップもスクリーンに共有

議論のための視点：

市の方針・個別施設計画に掲げる方針

配置先(敷地)情報や個別施設計画【公共施設】との整合性等、施設(機能)の方向性を検討する上で参考となるものを表記

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（全班一致している意見）

①市民総合センター機能 文1 教1 コ1 子1 の配置先

■ 市民総合センター敷地で現状維持

- 市民総合センターの議論から始めるのではなく、南中学校跡地の活用から議論してはどうか。アクティブ・スクウェア・大東が民活事例としてあり、多様な機能で賑わいを生み出している。一度見学しても良いのでは。：山口委員
- 駐車場において商工会館とあわせて整備することも考えられるのでは。：石井委員
- 駅から歩いて行ける所で、大きな駐車場やバス停もあり利便性が高い。道路や歩道も使いやすく安全性も高い。：市林委員
- 東西に国道163号、南北に国道170号があり、非常に明快な都市構造で、それに沿って機能が集約されていることが、資源的価値があると感じる。：佐々木委員
- 駅から近い等、利便性が第一。青少年の情操教育の観点から、環境の整った現在の位置が一番。：山口委員

③歴史民俗資料館機能 教3 の配置先

■ 歴史民俗資料館敷地に配置

- 宝塚の公演などコンテンツがよい。四條畷ならではのコンテンツをうまく活用し見せることが重要。：三輪委員
- 市の魅力は山城、史跡などたくさんある。観光ルートの拠点施設とするなど、もっとPR面の取組み工夫が必要。：石井委員
- この資料館は貴重な資源・情報がしっかりと展示されている。市域を超えて発信できることも大事では。：佐々木委員
- 他の地域への発信(SNSなど)は意義がある。1回行って終わりでなく、来訪者の呼び込みや定期的に来たいと思える工夫(古民家カフェなど)を付加してはどうか。：長谷委員
- 土蔵にこだわる必要はないのでは。：市林委員
- 土蔵のある土地に施設を建てる相当な思い入れが詰まった施設でもあり、その思いを断ち切って良いものかと思う。：山口委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
<u>市民総合センター敷地</u> ●市民総合センター機能を現状維持するため、現時点で敷地に追加施設整備の余地はなく、将来的に建替え整備を行う場合は、市民総合センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 西部地域の中央部	○ 機能の方針は特にない	●将来的な施設整備の際には、共用部の効率化や機能間での面積調整等、総量削減に係る計画検討が必要
<u>歴史民俗資料館敷地</u> ●国の登録有形文化財の土蔵は現地で適正保存 ●現時点で敷地に余地がなく、追加施設整備を行う場合、土蔵を避けながらの整備となり、歴史民俗資料館機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	△ 来館者が増える配置とする	○ 機能の方針は特にない	●将来的な施設整備の際には、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（全班一致している意見）

⑩市庁舎機能 行10 の配置先

■ 市庁舎敷地に配置

- 敷地は無駄なスペースもありそうなので、高層化するなど、うまく使えるのではないかと。：小寺副委員長、他
- 市の要となる施設。今の場所に建てる場合、その間の庁舎機能がどこにいくのか。他事例では廃校を一時的に利用している事例もある。（南中学校をうまく活用するなど）：田中委員、他

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
市庁舎敷地 - 市庁舎本館は耐用年数から建替え整備が必要 - 現時点で敷地にあまり余地がなく、整備を行う場合は、敷地内でローリングを行うか、市庁舎機能を別場所に一時移転する必要がある	○ 西部地域の中央部	○ 機能の方針は特にな	別棟を集約する、あるいは、複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要

⑪グリーンホール田原機能 文11 教11 コ11 子11 行11 の配置先

■ グリーンホール田原で現状維持

- きれいでまだまだ使える建物という印象。：市林委員
- 立派な施設。災害時の本庁のサブ機能(屋上にサブ拠点をつくるなど)も必要では。：石井委員
- 東の拠点。情報インフラを含め、スマートシティの観点からも拠点化することに期待。：佐々木委員

グリーンホール田原敷地 グリーンホール田原機能を現状維持するため、現時点で敷地に余地はなく、将来的に建替え整備を行う場合は、グリーンホール田原機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 現状配置で維持	○ 機能の方針は特にな	将来的な施設整備の際には、共用部の効率化や機能間での面積調整等、総量削減に係る計画検討が必要
---	--------------	----------------	--

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（全班一致している意見）

⑫ 四條畷南中学校跡地機能 ス12 他12 の配置先

■ 四條畷南中学校跡地に配置

- 避難所確保は賛成。コロナ禍を考えると、広い方が良いのか。空き教室の有効活用はどうか。小分けして使える。：小寺副委員長
- 空き教室が多く、避難所以外にもカルチャースクール、音楽活動などに使えるのでは。EVもあり車椅子の方も利用できる。現状も利用しており、使う部分は自分たちで掃除もする。利用禁止のエリアは放置され汚れていく。：石井委員
- 他の市では休校になってから活用するのが早い。市庁舎建替えの仮庁舎として利用するのはどうか。：市林委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
<u>四條畷南中学校跡地</u> ・土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を利活用する ・建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がない	○ 配置の方針は特にな	○ 避難所確保 公園整備 体育館整備	・複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、既存校舎の活用の有無等、計画時には更なる検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（全班一致・有効活用に関する意見）

⑬ 四条畷駅前タイムズ 他13 の活用

- 有効活用
- ・公園
 - ・図書ライブラリー・カフェ
 - ・未定

- 子育ての観点から室内遊び場があれば良い。駅前で買物にも便利なので、子どもを遊ばせながら他の用事を済ませられる。屋外(公園)にすると防犯上良くないため屋内が良い。：長谷委員
- 色々と整備できると考える。：小寺副委員長
- 単一よりも多目的で考える。休憩所や遊び場等色々な機能を盛り込んで、多世代が気軽に利用できる場にするのが良いのではないか。：田中委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
<u>四条畷駅前タイムズ敷地</u> ・四条畷駅に最も近い市有地 ・現状は駐車場として利用されている	—	○ 子育てや社会教育施策などの行政サービス	●現状に追加で新たな施設等を整備することになるため、総量削減の考え方を前提とした計画・検討とすることが必要

⑭ 忍ヶ丘駅前タイムズ 他14 の活用

- 有効活用
- ・広場整備
 - ・現状維持
 - ・未定

- 特に意見・コメントなし

<u>忍ヶ丘駅前タイムズ敷地</u> ・忍ヶ丘駅に最も近い市有地 ・現状は駐車場として利用されている	—	○ 子育てや社会教育施策などの行政サービス	●現状に追加で新たな施設等を整備することになるため、総量削減の考え方を前提とした計画・検討とすることが必要
--	---	--------------------------	---

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（全班一致・有効活用に関する意見）

⑮ 四條畷西中学校サブグラウンド 他15 の活用

■ 有効活用

- ・ イベント等に使える場所に整備
- ・ スポーツ関係施設
- ・ 現状維持
- ・ 民間活用
- ・ 未定

● 特に意見・コメントなし

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
<u>四條畷西中学校サブグラウンド敷地</u> ・ 四條畷西中学校、市民総合体育館と近接している ・ 現在は暫定的にサブグラウンドとして利用している	—	○ 機能の方針は特になし	・現状に追加で新たな施設等を整備することになるため、総量削減の考え方を前提とした計画・検討とすることが必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（施設再編全体に関する意見）

○施設再編全体に関する意見(令和3年度第1回検討会)

■ 前回のグループワークのまとめ意見補足・整備の進め方

- 四條畷南中学校跡地の活用の仕方がB、C班とA班で異なっている点について、建替えが必要な施設の機能を一時的に置いておく仮の建物として、南中学校跡地を活用するのが良いのではないかとすることを意図した意見であった。コスト削減や南中学校跡地の利活用に対する市民の納得性も得られるのではないかと。：川勝委員
- 30年かけて整備をするため、整備の順番が重要だと感じる。現状維持をしつつ、空いている部分を市庁舎などの機能の仮移転先として優先的に使うことも考えられるのでは。：市林委員
- 整備の順序を一定考えていると思うが、ある程度再編の方向性が見えてきた段階で具体的な方法を検討していくと理解している。：三輪委員
- 前回グループワークの結果より、「現状維持」の意見の施設（市庁舎や市民総合センター）は、ある程度こじかかないという雰囲気で見えが出ていた面があったと思う。：佐々木委員

■ 施設再編全般に係る意見

- 30年かける前提が長すぎる。現状で困っていることも多くあるため、10年などもっと短いスパンで考えられないのか。具体的な議論をもっとしたい。：大年委員
- 今、利用、活動されているものを将来の世代にどのように残していくか、継続して使ってもらえるかを考える、再編の「間」をもう少し考えることも重要。まずは歴史などのネットワークを意識したコンテンツの活用を考えることで、意外と早く済むかもしれないし、市民の理解も得られやすいのではないかと。：田中委員
- ソフト面から有効活用するのはすぐにでもできる。時系列でイメージして「〇年後の姿」を共有しながら議論できると良い。：佐々木委員
- この検討会の議論のベースは今ある施設の再編についてだが、今ない新たな機能の整備方法を考えていくことも大事ではないか。：三輪委員

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※1：2班で一致する意見）

②教育文化センター機能 文2 教2 コ2 子2 の配置先

■ 2班) 四條畷南中学校跡地に配置

- (中学校における運動部員の減少を例に挙げたが、) 少子高齢化の中、若い人に将来ツケを回さないとともに、今暮らしている市民が四條畷市に住んで良かったと思える施設再編が大事。そのような視点で、まず南中学校跡地にどのような機能を持ってくるかを取り上げるのが良いのではないかな。安心して楽しめるような跡地活用が望ましい。：山口委員
- (施設をどのようにするかは、) 目的次第ではないか。複合・集約化するのか、費用対効果を見るのかによっても変わる。基本的な方針があれば、それに沿って検討すれば良いと思う。：福井委員

■ 1班) 市民総合センター敷地に 文2 コ2 を配置
教育文化センター敷地に 子2 を機能維持
歴史民俗資料館敷地に 教2 を配置

- 「教2」を歴史民俗資料館敷地に配置したのは、歴史民俗資料館の利用率を上げる目的であった。：川勝委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
四條畷南中学校跡地 - 土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を活用する - 建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がない	○ 配置の方針は特にな	○ 親和性の高い施設との複合化	●複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要
市民総合センター敷地 市民総合センター機能を現状維持するため、現時点で敷地に追加施設整備の余地はなく、将来的に建替え整備を行う場合は、市民総合センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 配置の方針は特にな	△ 教2(資料室)は、指定管理者独自の自主事業のため、他施設での継続が難しい	●市民総合センターへの機能統合による総量削減の余地が一定あり、計画時には継続検討が必要
教育文化センター敷地 - 現教育文化センター施設は、耐震性がなく、早急な建替え整備が必要 - 現時点で敷地に余地がなく(要確認)、整備を行う場合は、教育文化センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある			●子2(児童室)機能が単体整備となることが考えられるため、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要
歴史民俗資料館敷地 - 国の登録有形文化財の土蔵は現地で適正保存 - 現時点で敷地に余地がなく、追加施設整備を行う場合、土蔵を避けながらの整備となり、歴史民俗資料館機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある			

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※ 1：2班で一致する意見）

⑦保健センター機能 保7 子7 の配置先

■ 2班）市庁舎敷地に配置

●一番急いで建替えないといけないのは市庁舎。保健センターと複合整備する場合、そのコストがどれくらいか。どれくらいコスト削減されて、どの程度で建設費用を回収できるのか。整備の緊急性のある施設とそこに必要な費用等、具体的な内容を示していただきたい。同時に色々な施設の話をして、進まないのでは。：大年委員
保健センターは、病気の方（子どもなど）が利用する施設のイメージがある。感染症などを考えると、市庁舎と複合化するのは問題もあるのではないかと。：福井委員

■ 1班）保健センター敷地に機能維持
（建替え時に市民総合センターと統合）

●保健センターは市民総合センターより後に建ったと思うが、たまたま市民総合センターに空き地があったため、整備されたように思う。：山口委員
●市民総合センターか、市庁舎と複合するのかわ、施設の使われ方が変わると思う。市の立場からすると市庁舎との複合化が効率的だと思うが、利用者の立場から考えると、市民総合センターとの統合もあり得るのではないかと。：川勝委員
●保健センターは、当面は今の場所で良いのではないかと。耐震性がない他の施設を考えることが一番ではないかと。まずどこから手を付けるか、優先的に検討していくかを決めることが大事だと思う。：山口委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
市庁舎敷地 ・市庁舎本館は耐用年数から建替え整備が必要 ・現時点で敷地にあまり余地がなく、整備を行う場合は、敷地内でローリングを行うか、市庁舎機能を別場所に一時移転する必要がある	○ 西部地域の中央部	○ 市庁舎と複合化	・複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要
保健センター敷地 ・現時点で敷地に余地がなく、整備を行う場合は、保健センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 西部地域の中央部	× 市庁舎と複合化	・単体整備となることが考えられるため、総量削減を前提とした計画検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない
2班…「2班で一致する意見」 1班…「1班のみの意見」

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※ 1：2班で一致する意見）

- ⑧四條畷市シルバー人材センター機能 福8 と
- ⑨福祉コミュニティセンター機能 福9 コ9 の配置先

■ 2班）四條畷南中学校跡地に配置

- 施設が分かれていることで四條畷市の持つ課題が認識しづらくなるのであれば、いっそのこと南中学校跡地などに色々な機能を集約するのも良いのではないか。多世代で共存できる場所にする事で、地域の課題の認識のために施設をうまく利用していくという考え方もあり得るのではないか。：田中委員
- 【四條畷市シルバー人材センター】
- 事務所と駐車場が一緒にある程度であるため、もっと別の場所（不便な場所）に配置するのも良いのではないか。現在の場所は利便性が良いため、他の有効活用方法を検討するのも良いのではないか。：福井委員
- 楠風荘の移転先として良いのではないか。：山口委員
- 【福祉コミュニティセンター】
- 福祉コミュニティセンターをどこかに統合し、空いた土地を南小学校として有効活用し、学校関係で先進的な取組みができ、本市に人が集まるような教育施設ができないか。：福井委員
- 福祉コミュニティセンターと教育文化センターで、会議室利用等、共通点が多く見られた。南中学校跡地を賑わいの場所とすれば、活気づくのではないか。：山口委員
- 福祉コミュニティセンターをよく利用しているが狭いため、広くしてほしい。教育文化センターも利用者が少なく、機能もよく似ているため、南中学校跡地で複合化してはどうか。：田村委員

■ 1班）福祉コミュニティセンター敷地に配置

- 特に意見・コメントなし

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
四條畷南中学校跡地 ・土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を利活用する ・建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がない	○ 安全性確保のために他施設へ移転させる方針(⑧)に合致	○ 安全性確保・低利用解消のため親和性の高い施設と複合化する方針(⑨)に合致	●複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要
福祉コミュニティセンター敷地 ・現福祉コミュニティセンター施設は、耐震性がなく、早急な建替え整備が必要 ・現時点で敷地に余地がなく、整備を行う場合は、福祉コミュニティセンター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 他施設への移転	○ 親和性の高い施設との複合化	●複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地が一定あり、計画時には継続検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない
2班…「2班で一致する意見」 1班…「1班のみの意見」

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※2：各班で一致しない意見）

④市民活動センターの体育館以外の機能 教4 福4 の配置先

■ i) 市民活動センター敷地に配置（機能維持）

●特に意見・コメントなし

■ ii) 市民活動センター敷地に 教4 を配置 & 福祉コミュニティセンター敷地に 福4 を配置

● ii)、iii) の2班は機能を集約する方向で、その配置場所が違う。問題意識の共有やコミュニティ形成のメリットについて、南中学校跡地1か所だけに集約するより、福祉コミュニティセンター敷地など、ある程度分散配置の方が効果があるのではないか。：川勝委員

■ iii) 四條畷南中学校跡地に配置

●特に意見・コメントなし

■ その他意見

●社会福祉協議会はとても大事な施設である。市の中心機能、福祉の中心拠点として尊重し、立派なところに入れていただきたい。：守屋委員

●色々な部署や機関もあるので、相応の施設規模も必要となる。：小寺副委員長

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
市民活動センター敷地 - 現市民活動センター建物は耐震性がなく、早急な建替えが必要 - ボール遊びができる広場を整備予定 - 社会教育機能のうち、多目的室は敷地の近くにあるくすのき小学校へ多機能化	○ 配置の方針は特になし	× 親和性の高い施設との複合化	●単体整備となることが考えられるため、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要
福祉コミュニティセンター敷地 - 現福祉コミュニティセンター施設は、耐震性がなく、早急な建替え整備が必要 - 現時点で敷地に余地がなく、整備を行う場合は、福祉コミュニティセンター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 配置の方針は特になし	○ 親和性の高い施設との複合化	●それぞれの敷地において単体整備となることが考えられるため、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要
四條畷南中学校跡地 - 土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を活用する - 建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がある	○ 配置の方針は特になし	○ 親和性の高い施設との複合化	●複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※2：各班で一致しない意見）

⑤忍ヶ丘あおぞらこども園機能 子5 の配置先

■ i) 保健センター敷地に配置

●保健センターは、当面は今の場所で良いのではないか。：山口委員

■ ii) その他に配置

- ・中央部
- ・駅近

●小学校の人数が減っている状況であるため、小学校の空き教室に追加するのも良いのではないか。：川勝委員

●小学校へのアイデアもあるが、高齢者施設とのマッチングの考えもある。

配置場所は、生まれてから何か月後にこども園に入園するかなど、データはある程度掴めると思うので、それらを基にどの場所のニーズが高いか検討してはどうか。：三輪委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
保健センター敷地 ・現時点で敷地に余地がなく、整備を行う場合は、保健センター機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 西部地域の中央部	○ 機能の方針は公立園を1園とする以外特はない	・単体整備となることが考えられるため、別棟を集約する等、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要
—	○ 西部地域の中央部	○ 機能の方針は公立園を1園とする以外特はない	・配置先によるが、別棟を集約する等、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要

凡例： ○…整合性が図れている △…部分的に整合性が図れている ×…整合性が図れていない

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※2：各班で一致しない意見）

⑥老人福祉センター楠風荘機能 **高6** の配置先

■ i) 老人福祉センター楠風荘敷地に機能維持 & 市民活動センター敷地に分散配置

●特に意見・竹藪を整備することで広い敷地になるので、それも含めて検討してはどうか。：石井委員

■ ii) 四條畷南中学校跡地に配置

●特に意見・コメントなし

■ iii) その他（他の場所でも良い）

●利用者は高齢者の方なので、交通利便性に配慮する必要がある。：守屋委員

●少し特殊な施設だと感じた。不便なところではあるが、分散化の考え方もあるのではないか。防災面から考えると、災害時に役に立つ場面もある。市内の数か所に分散配置することで、浴室など災害時の利用価値も出てくると思う。：田中委員

配置先(敷地)の特徴	個別施設計画【公共施設】との整合		
	配置	機能	総量削減
老人福祉センター楠風荘敷地 - 西部地域の東端に位置している - 現老人福祉センター楠風荘施設は、耐震性がなく、早急な建替え整備が必要 - 現時点で敷地に余地がなく、整備を行う場合は、老人福祉センター楠風荘機能を別場所に移転、もしくは一時休止する必要がある	○ 配置の方針は特はない	△ 親和性の高い施設との複合化 老人福祉センター楠風荘敷地においては複合化が難しい	●2つの敷地に機能を分散させて単体整備あるいは複合化することが考えられるため、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要
市民活動センター敷地 - 現市民活動センター建物は耐震性がなく、早急な建替えが必要 - ボール遊びができる広場を整備予定 - 社会教育機能のうち、多目的室は敷地の近くにあるくすのき小学校へ多機能化			
四條畷南中学校跡地 - 土砂災害警戒区域指定・断層の関係から、整備を行う場合は敷地西側を利活用する - 建替え整備が必要な場合でも、敷地に余地があり、当該機能を移転・休止する必要がない	○ 配置の方針は特はない	○ 親和性の高い施設との複合化	●複合化することによる共用部の効率化等、総量削減の余地があり、計画時には継続検討が必要
—	—	—	●配置先によるが、総量削減の考え方を前提とした計画検討が必要

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※3：追加機能等）

②教育文化センター敷地における追加機能の提案

■ 防災センター機能

- 防災センター機能の整備に賛成。断層や土砂災害エリアも近いので、防災的な施設があれば、避難したり防災用品を持ち出したりできるので良いと思う。：石井委員
- 普段は使わないが、いざというときに防災（避難）施設として使えるように市域の西側や田原地区にも施設を整備しておき、地域のサブ機能を持たせておくことも大事だと思う。：田中委員

⑩市庁舎敷地における追加機能の提案

■ 市庁舎上部にマンション

- 特に意見・コメントなし

⑪グリーンホール田原敷地における追加機能の提案

■ 健康増進機能

- 特に意見・コメントなし

⑫四條畷南中学校跡地における追加機能の提案

■ 子育て施設（つどいのひろば）

- 特に意見・コメントなし

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（※3：追加機能等）

○ その他提案・意見 1

■ アクセスの改善・周辺道路整備の必要性

施設再編を考えるうえで、アクセスの問題や周辺道路の整備の必要性が課題として捉えられる

● 特に意見・コメントなし

○ その他提案・意見 2

■ 「まちのみせ」（川勝委員意見）のような機能の分散配置 付箋紙の付いていない跡地については、川勝委員提案の 「まちのみせ」のようなものを整備するののも一つの方法で はないか

● 良いアイデア。集約もする一方で、分散させていく方法も考えないといけない。提案のような施設をうまく生かしていく方法を考えていければと思う。：田中委員

○ その他提案・意見 3

■ 分散と集約

子どもや高齢者に関する機能は、自宅近くに複数あると利便性が高く分散配置が望ましいが、集約できる機能は集約するという「分散と集約」のメリハリある再編ができると良い

● 特に意見・コメントなし

○ 施設機能別検討会再編案に関する議題・検討項目（施設再編全体に関する意見）

○ 施設再編全体に関する意見(令和3年度第2回検討会)

■ 施設再編全般に係る意見

- (施設をどのようにするかは、)目的次第ではないか。複合・集約化するのか、費用対効果を見るのかによっても変わる。基本的な方針があれば、それに沿って検討すれば良いと思う。：福井委員
- 少子高齢化の中、若い人に将来ツケを回さないとともに、今暮らしている市民が四條畷市に住んで良かったと思える施設再編が大事。：山口委員
- 耐震性がない他の施設を考えることが一番ではないか。まずどこから手を付けるか、優先的に検討していくかを決めることが大事だと思う。：山口委員
- 機能と配置、職場・人など、どの観点を重視して検討していくのかも考える必要がある。：小寺副委員長